

新 懐

福山七の
お宝
特集

昔からの伝統工芸が受け継がれている福山市。その知恵と技は、現代のものづくりにも活かされている。



01
カイハラ株式会社
稲垣 博章さん
HIROFUMI INAGAKI
大手SPA企業の、新商品開発などを手がけています。自分が関わったデニムのジーンズを店頭で見かけると、うれしいです。海外や東京出張から福山へ帰ると、ほっとします。



デニムシェアナンバーワン

■デニム一貫生産体制で、全世界へデニム文化を発信
備後絨メーカーとして産声をあげ、その知恵と技を活かして日本初のデニム事業に取り組み、デニムの一貫生産（紡績・染色・織布・整理加工）を行っている。備後地域の工場で、清らかな水と備後絨の「藍（インディゴ）染め」技術によって、美しい色合いのデニムが年間3,600万本分生産される。その高品質のデニムは、「カイハラデニム」としてブランド化され、国内外のトップジーンズメーカーからも認められている。



02
株式会社石井表記
増成 誠治さん
SEIJI MASUNARI
福山は住みよい気候で、休日に家族と一緒に公園などで遊べるのが魅力です。これからも、表面研磨の一流技術集団としてみんなで力を合わせて開発を行っていきます。



■表面研磨の一流技術集団

ネームプレート製造会社として創業し、金属を磨く技術を応用してプリント基板製造に着手。高い表面加工技術を誇り、世界最大級の半導体メーカーにもその技術が認められている。最近では、極薄基板用の装置が開発され、携帯電話やパソコンの小型化、軽量化に貢献している。創業時から培われたプリント基板の研磨技術は、液晶パネルの配向膜や太陽電池の開発技術にも活かされており、一流技術集団たちの開発はまだ続く。

プリント基板製造装置世界シェアナンバーワン



松永下駄 [まつながた]

全国の6割を生産しており、明治時代初期から130年を超える歴史を持つ。塩を煮詰める薪を使って下駄をつくったのがはじまり。



福山琴 [ふくやまこと]

全国の生産の7割を占め、160年を超える歴史を持つ。1985年（昭和60年）に伝統的工芸品に指定され、2006年（平成18年）には地域団体商標（地域ブランド）に登録された。



03
びんご畳表

660年以上の歴史を誇り、その高い品質から、2008年（平成20年）に地域団体商標（地域ブランド）として登録された。



04
備後絨 [びんごがすり]

日本三大絨のひとつ。約160年の歴史があり、昭和30年代には日本最大の絨産地となった。井伏鱒二の「木靴の山」にも登場する。県指定伝統的工芸品。



宇宙にも活かされる漁網の製網技術

創業100年の歴史を持ち、世界初の無結節網を開発したバイオニア。無結節網はその名のとおり結び目にコブがないため、水の中での抵抗が少なく耐久性がある。製造される網は、定置網、養殖網などの漁網が中心。マグロの養殖にも多く使用されている。陸上用では紙を使用したエコなものもある。さらには、JAXAと共同で宇宙ゴミを取り除く「掃除衛星」へ取り付けられる網目状の導電性のひも(テザー)を開発している。



日東製網株式会社

◆ 小林 重久さん
SHIGEHISA KOBAYASHI

福山市は温暖で住みやすく、製網にも適した環境です。創意・誠実・努力という会社の経営理念のとおり、これからも技術力を高め、ゼロからのものづくりに挑戦します。

無結節網のトップメーカー



オリジナル公園施設生産量ナンバーワン



タカオ株式会社

◆ 川上 忠由さん
TADAYOSHI KAWAKAMI

安全でインパクトがあり、デザイン力・企画力に優れたオリジナルの公園施設づくりをめざしています。これからも、若い世代を育て、夢をかなえてあげたいと思っています。

■ シンボルの遊具を製造

東京都お台場冒険王、福岡県の国営海の中道海浜公園、広島県の国営備北丘陵公園、その他、北は北海道から南は沖縄まで、オリジナルの遊具づくりを行っている。これらはすべて安全性を確保し、地域のオリジナル性を活かした、シンボルの公園となっている。タカオ株式会社のお藤元、福山市の富谷ドームランドや、福山ファミリーパークもタカオ製。子どもから高齢者まで、すべての人のための公園づくりに挑戦中。



伝統産業の
継続は、
力なり。

interview

産業支援コーディネーター
渡辺 幸三さん



↑フランスの展示会で好評を得た備後絣のぬいぐるみ



■ 東京で自動改札機など「世界初」のものづくりに携わっていましたが、縁あって福山市へ。2005年(平成17年)には備後絣の活性化プロジェクトで渡辺し、絣のPRを支援しました。伝統産業の活性化は革新ではなく、できることを継続して行うことが大切。2009年(平成21年)の成人式では、備後絣の箸袋を3300本配布しました。2010年(平成22年)3月には、「備後ふくやま伝統産業展」を開催。地域初となる伝統産業4組合の合同展示・販売を行いました。今後も、担い手のやりたいことをくみ取り、支援していきたいと思っています。

懐かしいものづくりを
新しい工夫で広める